



学校通信

西が丘小だより

第9号

令和6年10月1日

津市立西が丘小学校

【文責】校長：松本幸也

「想像以上でびっくり！」

～ 9/13(金) 4年生「防災体験」より～

本校では毎年、4年生の学年活動で「防災体験」をしています。この体験活動は、PTA学級委員さん、防災コーディネーターの方々をはじめ、三重県・津市の職員の方々にもご協力いただき、地震体験や避難所体験の他、防災クイズや液状化実験、給水体験、防災グッズ・震災時写真の紹介など、貴重な体験を数多くさせていただきました。先月にもお伝えしたとおり、大きな地震がいつ起きるか分かりません。4年生の防災体験を機に、日頃からの備え、心の準備が必要だと改めて感じました。防災体験後の子どもたちの感想を一部紹介します。

地震体験車



避難所体験



防災クイズ



液状化実験



給水体験



防災グッズ



～ 4年生の振り返りシートより～

地震体験車に乗って、震度6とかが想像以上にゆれてびっくりしました。防災グッズは、いろいろ用意しないとイケないなと思いました。給水車では水をくむのは難しかったけど入れられました。6リットルの水が、あんなに重たかったのにはびっくりでした。

自分の家には非常食がどのくらいあるのかを、お母さんに聞いてみたら、たくさんありました。お湯のできるご飯や缶詰めやめん類などがたくさんありました。お姉ちゃんがアレルギーなので、お姉ちゃんが食べられる非常食は少ないと思っていたけど、多くてびっくりしました。

地震体験車の震度7がすごくて、東日本大震災の時や能登半島地震の時は、これが3分間もあるんだと思いました。段ボールで作ったベッドはちょっとだけ寝心地が悪かったけど、川口さんが160kgの人まで乗れるよ、と教えてくれたのでびっくりしました。南海トラフ巨大地震に備えて、家具の設置や防災リュックの準備しておかないと思いました。

